

事業の背景・目的

鹿島市には経ヶ岳及びその周辺に代表される多良火山地域の自然性の高い樹林地や、ラムサール条約登録湿地である肥前鹿島干潟に代表される有明海に面する加工・干潟など、国際的に価値の認められた重要な自然環境が存在する。この森から海・干潟までを一連の流域環境として意識し、令和3年度～4年度で整備を行ったコンテンツについてブラッシュアップを行い、イベントやモニターツアーを通じて、生態系保全と交流人口の増加を目的として事業を行った。



事業の内容

事業ア みかん荒廃園を活用した放牧牛の食育ツアー事業

- ・放牧牛を使用した商品をラムサールブランドとして販売
- ・今後の食育ツアー実施に向けた牧場含む周辺整備地の安全対策追加
- ・肉質向上のための牧草育成・牧草地への植林をテーマにした研究会の開催
- ・市内小学生を対象にした食育・自然ツアーイベントの開催



事業ウ 自然環境資源を活かした地域振興の取組の拡大事業

- ・佐賀大学と連携した昆虫採取イベントの実施
- ・生物多様性保全をテーマとした講演会の実施
- ・経ヶ岳修験道体験エコツアー（火渡り神事、ほら貝体験、経ヶ岳生息生物の勉強会、登山）
- ・市内河川・淡水域での生物調査
- ・ガタピカイベントの開催



得られた成果

放牧牛を使用した商品（サイコロステーキ、ハンバーグ）をラムサールブランドとして販売。放牧牛の肉質向上を目指して牧草育成・牧草地への植林活動を行う研究会を鹿児島大学・福岡教育大学と共同で行った。佐賀大学で開催した昆虫学会と連動したイベントを開催。佐賀大学農学部徳田教授を講師に迎え昆虫採取イベントを行った。その様子は地元ケーブルテレビで放送された。生物多様性保全をテーマにした環境講演会～生物多様性ってなに？～を開催。環境系エンターテイナー：WoWキツネザル氏、やながわ有明海水族館長：亀井 祐介氏を講師に迎え、市内外の小学生を含む150人が参加した。イベント開催は佐賀新聞に掲載され、講演会の様子は地元ケーブルテレビで放送された。市内河川・淡水域での生物調査を4季行い、市内水路でメダカの楽校イベントの実施、山の整備地を活用したキャンプイベントを開催した。